

土山小学校

## 令和4年度 我が校の学ぶ力向上策

**【市町 目標】**  
 ○「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくりの推進・充実  
 ○GIGAスクール構想に基づく「個別最適な学び」と「協働的な学び」のツールとしてのICTの効果的な活用  
 ○いじめを許さず、認め合い、支えあい、高めあう集団を育てる学級、学校づくり

**【学校 目標】**  
 ○活(I)かしたい・挑(C)戦したい・解(T)きたい授業をめざして～国語科における深い学びを実現するための授業改善～  
 ○学校・家庭・地域が一つになった教育の推進をめざす。

**【現状と課題】**  
 ○視点1 基礎的な力がほぼついているが、それを活用したり表現したりすることが苦手である。与えられた課題には真面目に取り組めるが、主体的な学びや、さらに上をめざす挑戦意欲が弱い。ICTの活用は積極的に行い、タブレット操作の基礎は定着してきている。  
 ○視点2 自尊感情・人権意識が低く、自分に自信が持てない傾向がある。  
 ○視点3 身近な人や地域に進んで働きかけ、自分たちの生活を豊かなものにしようとする意欲や態度が弱い。

### 取組事項および評価指標

※評価：【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目：9月 2回目：2月】

【視点1】学びを実感できる授業づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○主体的な学びへの授業改善 ・単元構想の工夫 ・タブレットを活用したドリル学習とICTを活用した学び合う授業 ・書く活動を大切にしたい国語科の授業づくり	・研究授業一人1公開実施		
	・教職員アンケートで、ICTを授業や家庭学習で積極的に使っていると回答する割合が85%以上		
	・学校評価の「授業がわかる」項目で90%以上		

【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○互いの違いを認め合う温かい学級集団作り ・毎月の人権の日 ・人権週間 ・人権の花 ・一人ひとり違うことの良さや、相手を思いやることの大切さを考えさせる日常的な取り組み。 ・心と体を大切に作る仲間づくりと温かい絆の醸成	・学校アンケートの「ルールを守れている」の項目で80%以上		
	・生活アンケートでいじめがあるという回答が5%未満		
	・		

【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○コミュニティスクールつちやまの運営 ・学校・地域協働活動 ・放課後学習塾 ・地域ICT教室 ・土山学の充実 ・お茶の活用・販売 ・寄せ植え ・公共交通環境学習 ○スーパーチャレンジ ◇あいさつ◇靴そろえ◇美・トイレ ◇黙々掃除◇聴く力の育成	・土山学の実施70%達成		
	・地域で学ぶ活動50%達成		
	・あいさつ100%靴そろえ100%		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。  
 ・4月の職員会議において学校長が教育目標や学校経営等について伝える機会に、学ぶ力向上推進リーダーが「学ぶ力向上策」について説明するとともに、それぞれの取組事項に対する具体的な内容について協議する。また、取組事項は学校だよりで保護者や地域に発信する。  
 ・全員で取り組む具体的な内容について共通理解し、視点1については研究主任、視点2については人権教育主任、視点3については全職員が一丸となって、組織的に実践につなげる。  
 ・定例職員会議では、取組の状況等を共有し、学期末の学校評価や、全国学力・学習調査等の調査における数値や意見等をもとに、改善策について(校内研究部、OJTグループ、教科部会等)でまとめ、10月の職員会議で共有し、後半の取組につなげる。また、それぞれの取組事項に対する中間評価結果を学校だよりで保護者や地域に発信する。

今年度の取組の成果と課題